

池田市歴史文化基本構想 【概要版】



「池田市歴史文化基本構想」とは

◇策定の背景と目的

池田の魅力のひとつである歴史文化。これを構成する古墳、伝承、建造物、道標、美術品、祭り、それらの周辺環境などを歴史文化遺産と呼びます。これらは、現在まで市民が大切に守り、受け継いできたものであり、後世へ伝えていかななくてはなりません。

池田の歴史文化の魅力をさらに高め、「訪れたい」「住みたい」「住み続けたい」と思われる魅力あるまちづくり、いきいきとした地域づくりを目指しています。



細河の植木産地



池田五月山の愛宕火
(がんがら火)

◇従来の「文化財保護」との考え方の違い

近年、地域の歴史や文化の価値が再認識されるなかで、地域の人びとの暮らしと深く関わり、地域の個性を示す歴史的・文化的・自然的遺産の価値が見直されてきています。

文化財の個別の価値を重視し、単体で保護する従来の考え方とは異なり、文化財（指定・未指定を問わない）とその周辺環境を一体として捉え、総合的に保存・活用してゆこうとする考え方です。



池田炭屋の店頭
(『日本山海名物図会』)

◇位置付け

本構想は、歴史文化遺産を総合的に保存・活用するためのマスタープランとして策定されました。

自然環境の保全、商工業の活性化、観光振興、地域間交流、生涯学習などの様々な施策を進めるにあたっては、池田の文化や歴史との関係を考慮し、さらに活かすことが不可欠です。この構想は、池田市のさまざまな施策を効果的に推進する役割を担っています。



室町住宅

池田市の「歴史文化遺産」

多様な価値観を含む歴史的・文化的・自然的な遺産、そしてそれと一体となって価値を形成する周辺環境を「歴史文化遺産」と規定しました。

さらに、池田の歴史を今に伝える「歴史文化遺産」を、『もの』『こと』『きおく』の3つに区分しました。



池田市の「歴史文化」

歴史文化遺産によって構成される、先人によって生まれ、現代に伝えられた知恵・経験・活動の成果、およびそれらの総体を「歴史文化」と位置付け、池田市の特徴をあらわす5つのストーリーを設定しました。

コミュニティの力で 継承する歴史文化

市民の手で保存が進められた池田茶臼山古墳をはじめ、市内の古墳や池田城跡、がんがら火や神田祭、仏像や絵画の継承など、中世以来のコミュニティの力により、歴史文化を伝えるまちづくりが進められています。

ものづくりの機運に 育まれた歴史文化

クレハトリ・アヤハトリ伝承をゆかりに、近世には在郷町の酒づくりや細河の植木などの産業に育まれた池田市の歴史文化は、自動車製造や銀行の創設、さらにはインスタントラーメンの発明などの新たな産業に結びついています。

住宅・教育都市 としての歴史文化

電鉄会社が開発した日本で最初の本格的な計画的分譲住宅地は、高度成長期の良好な環境を有するニュータウン建設につながり、教育分野にも力を注ぐ教育都市であることと共に居住者の誇りになっています。

5つの テーマ

交流が培った 歴史文化

古来、広域での交流がみられ、中世には池田氏の拠点、近世には街道筋の物資集散地として賑わい、近代も旧家や新進の企業人らによる文化活動が続くなど、様々な文化の伝播と文化財を蓄積して、市民の財産として継承されています。

森と水に育まれた 歴史文化

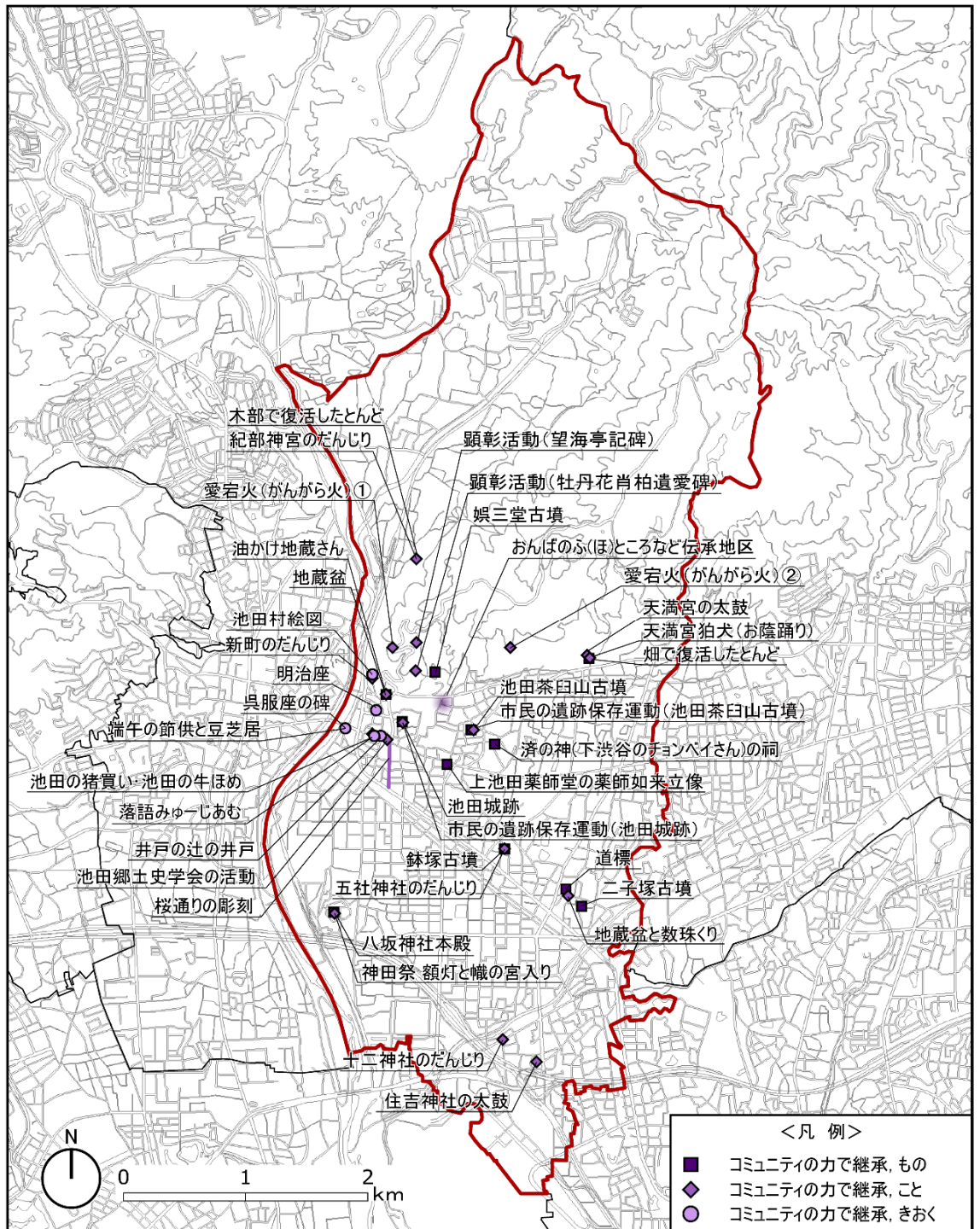
五月山や八坂神社などの鎮守の森、猪名川などの河川や市街地を流れる小水路、溜池、菖蒲の咲く水辺など、都市近郊にあって多様な森と水が育んだ歴史文化遺産を今も継承しています。

そして、この5つのストーリーを踏まえ、池田市の歴史文化を

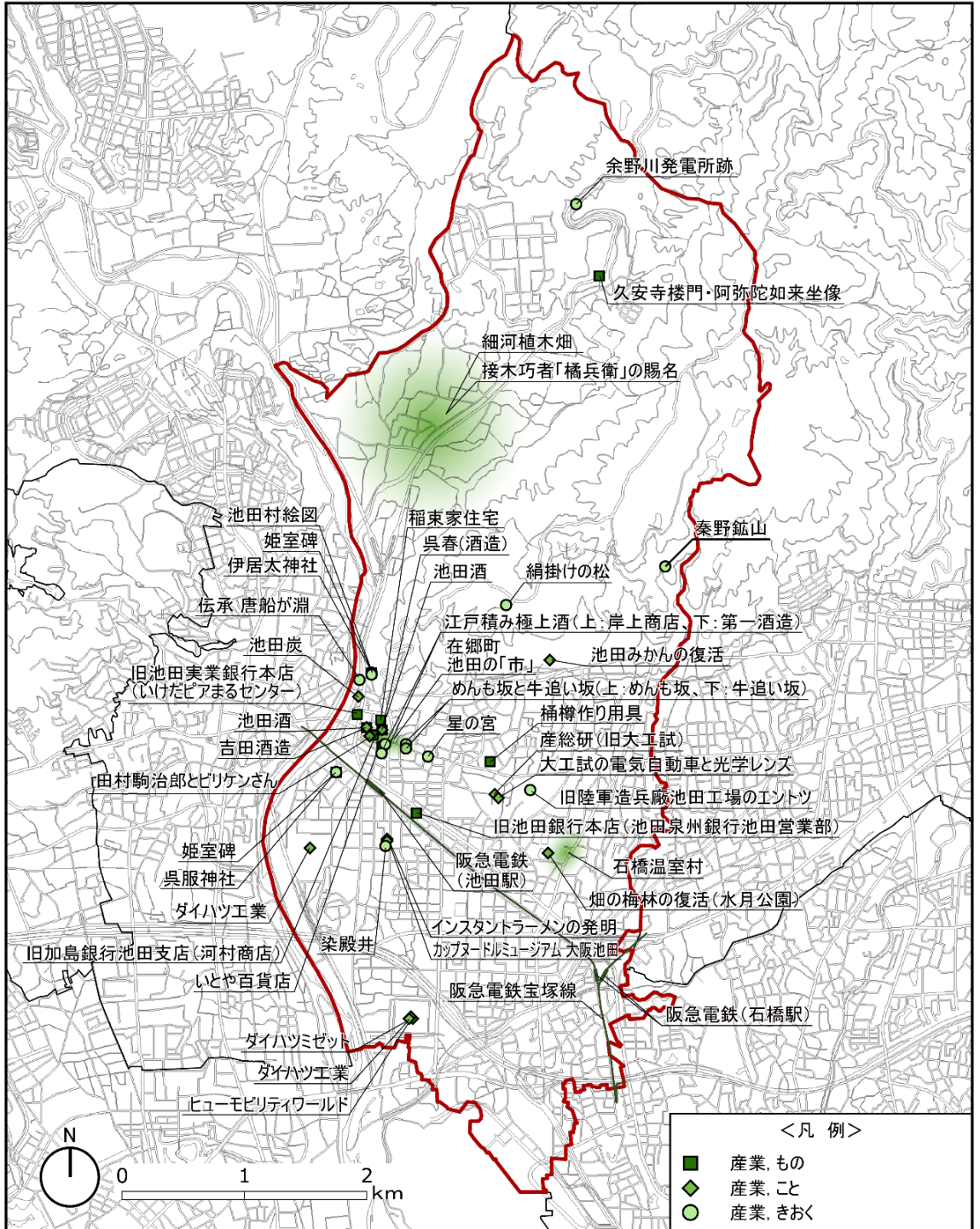
まち・人・産業が織り成す 〈事始めのまち〉の歴史文化

と設定しました。

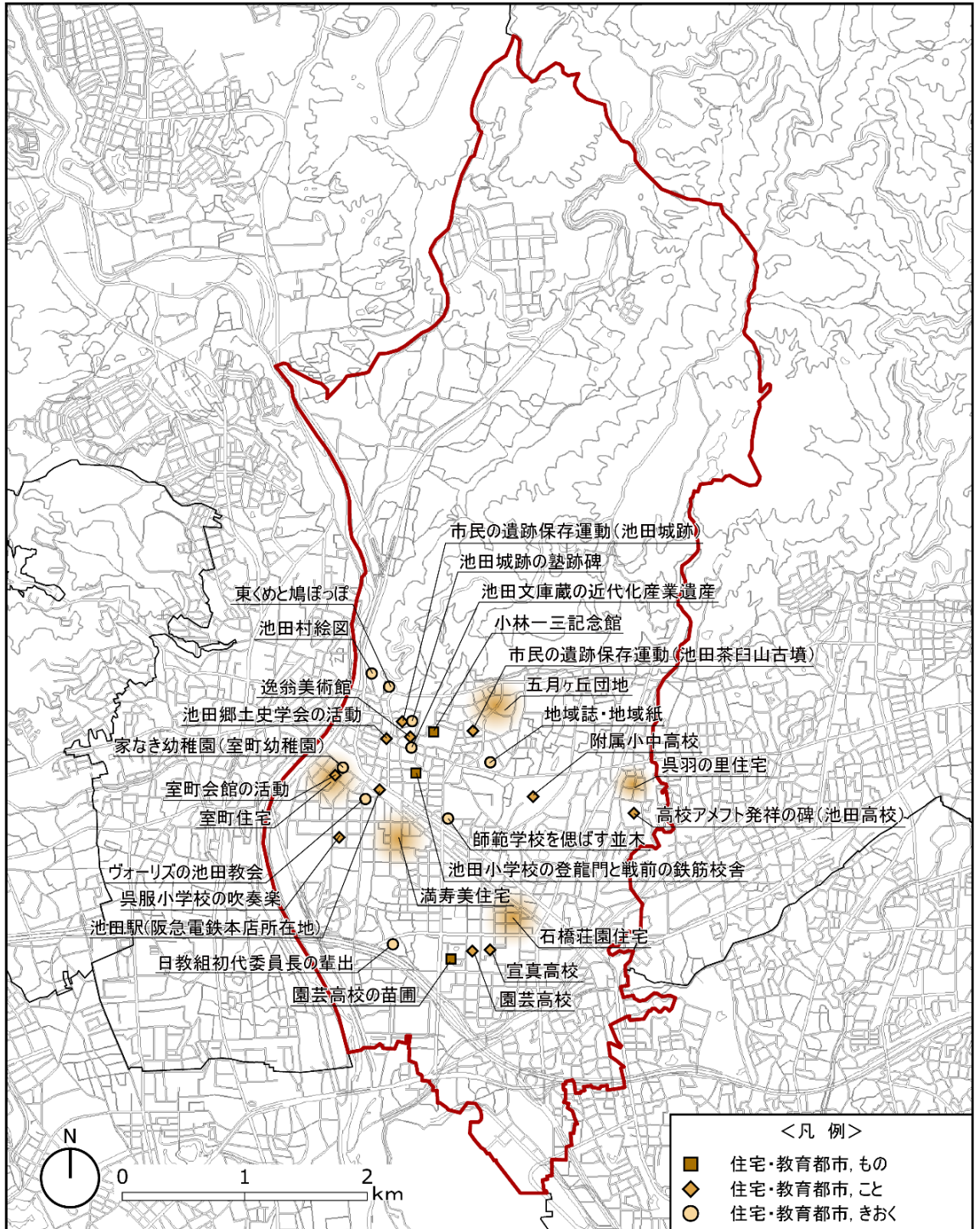
コミュニティの力で継承する歴史文化



ものづくりの機運に育まれた歴史文化

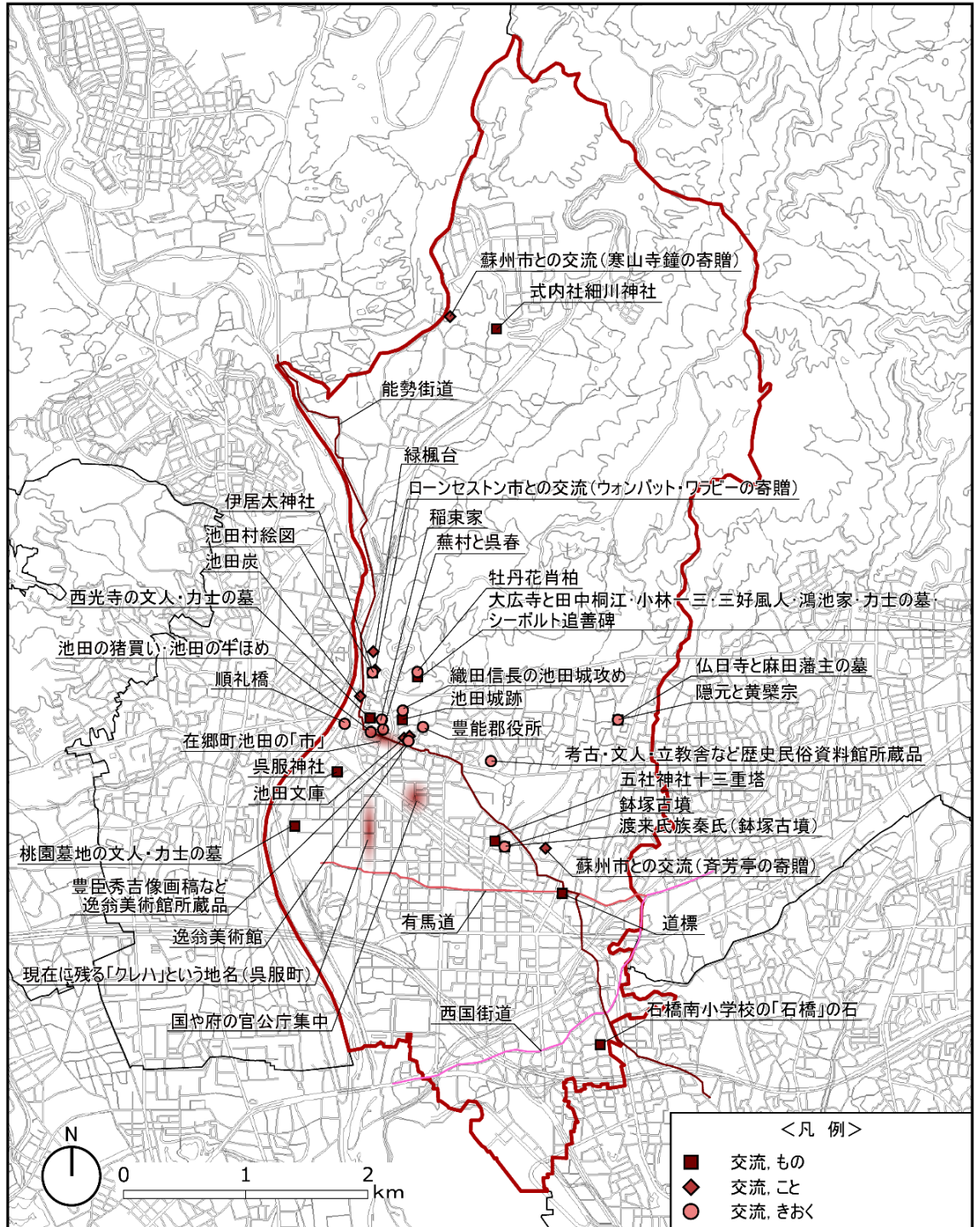


住宅・教育都市としての歴史文化



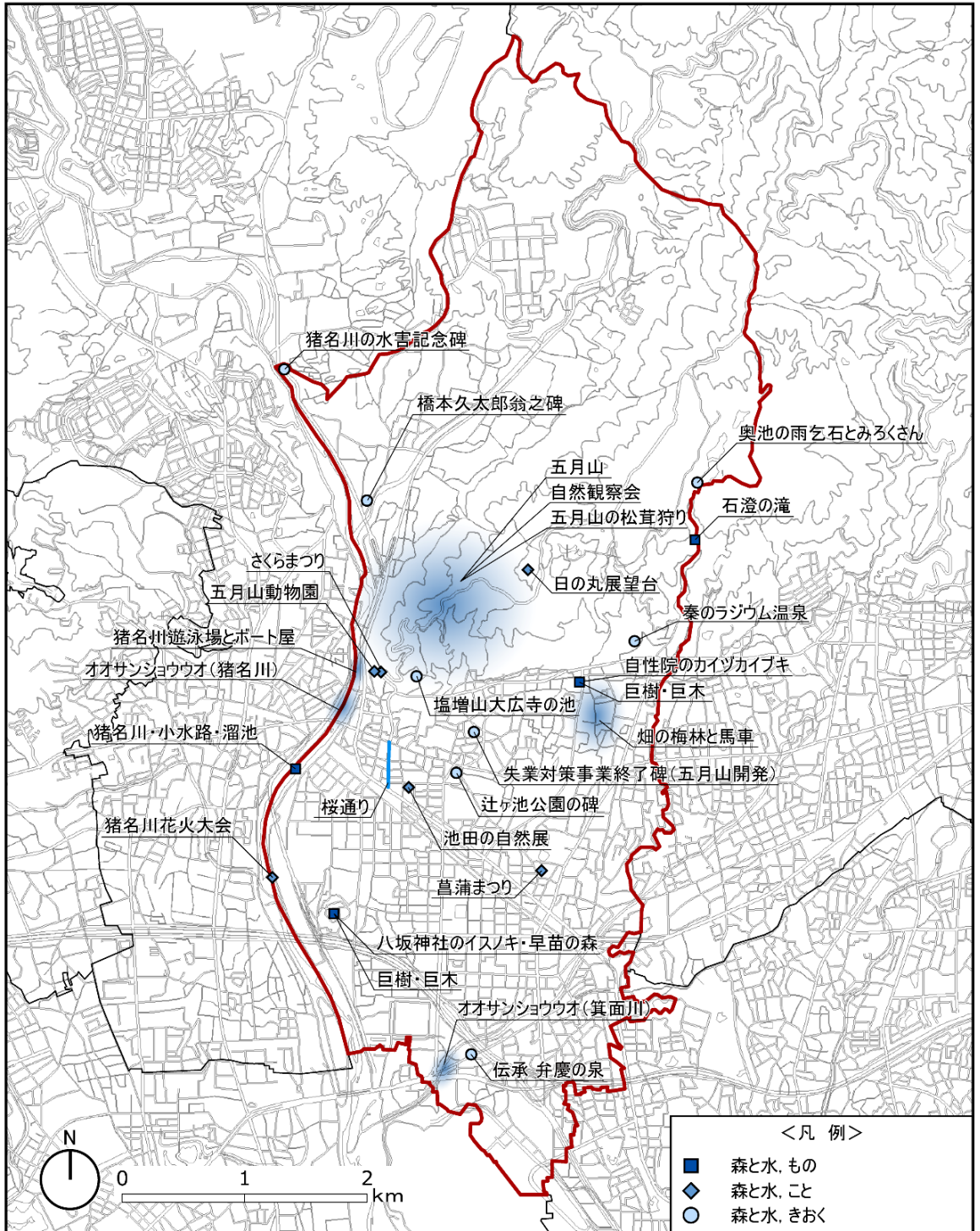


交流が培った歴史文化





森と水に育まれた歴史文化



これまでの取り組み

池田市では、これまでも歴史文化を活かしたまちづくりを進めてきました。公的機関だけでなく、市民や民間企業、地域コミュニティ推進協議会などのさまざまな実施主体により、多くの取り組みが行われています。以下はその一例です。

歴史文化の 価値の発信に 係る取り組み

広報誌への記事掲載
企業資料館による資料収集や展示
商工会議所によるクレハトリ・アヤハトリ伝承のPR
歴史民俗資料館による郷土資料の収集や展示
市史編纂
落語みゅーじあむでの展示・落語会

歴史民俗資料館による出前授業
小学校副教材「わたしたちのまち 池田」の刊行
文化財公開ウォーキングの実施
池田郷土史学会の活動
中央公民館での歴史講座の開催
「池田学講座」「続・池田学講座」の刊行

担い手育成や 意識啓発・学習に 係る取り組み

歴史文化の 保存等に係る 取り組み

歴史的なまち並みの調査
がんがら火（愛宕火）などの伝統行事の継承
市・府・国による文化財の指定・登録
植木技術の伝承・向上
池田酒のブランド確立
池田みかん復活プロジェクト

観光協会による「いけだ観光回遊ツアー」
映画・テレビドラマのロケ地としての活用
地域コミュニティ推進協議会による地域資源の活用
(古墳の整備・開放/史跡等の見学会/里道の整備)

歴史文化の 活用に係る 取り組み

「歴史文化保存活用区域」の設定

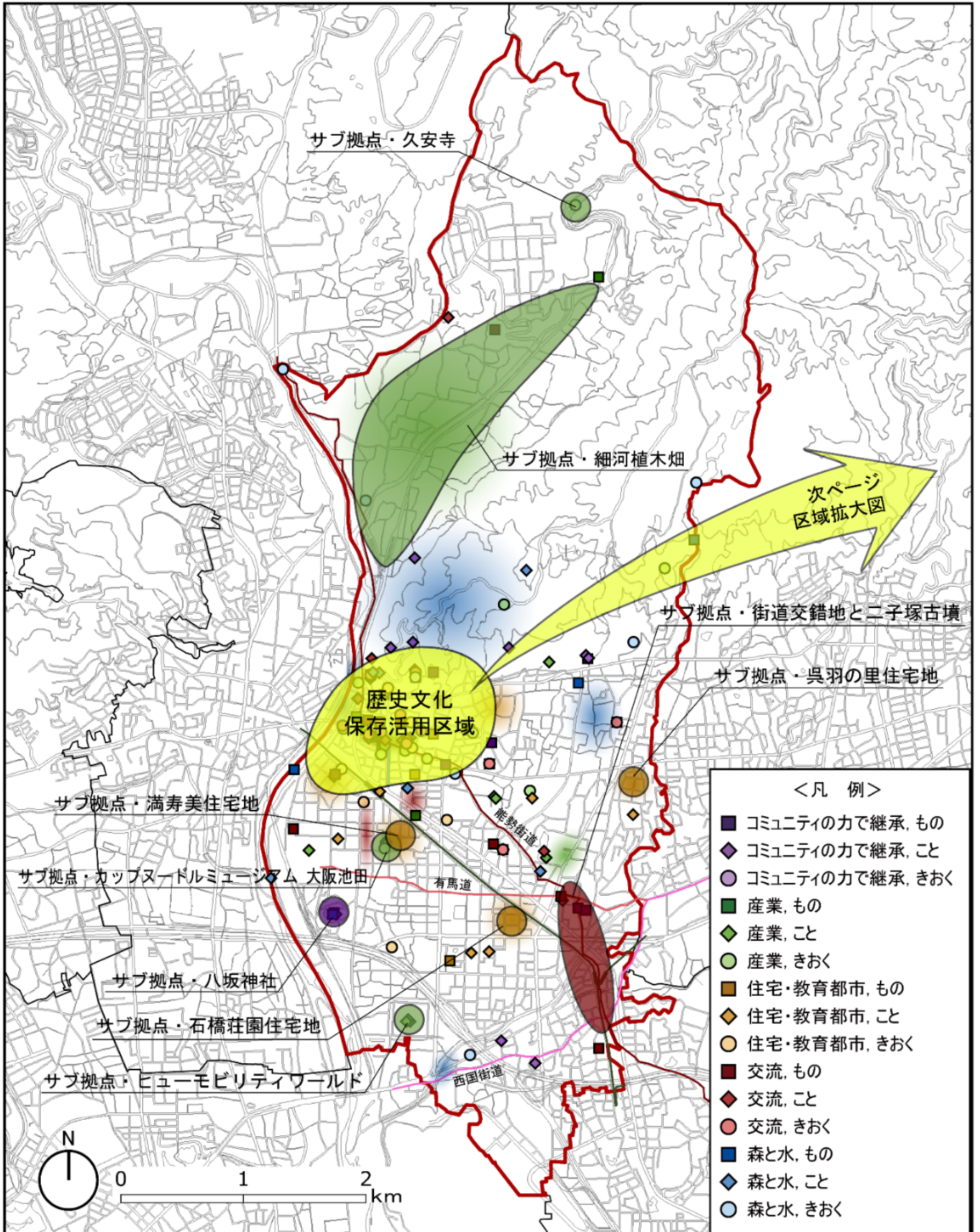
市全体で歴史文化を活かしたまちづくりを展開してゆくことが基本ですが、より効果的に魅力の発信や保存・活用を図るために、特に優先的・重点的にまちづくりを先導し、保存活用の拠点となる「歴史文化保存活用区域」と、それと連携して活用を図る「サブ拠点」を設定しました。



参考：歴史文化保存活用区域の設定の基本的考え方

- 「まち・産業・人が織り成す＜事始めのまち＞」を示す区域
- 歴史文化遺産ならびに指定文化財が相対的に集積している区域
- 5つのストーリーの連携をとることができる区域

◆歴史文化保存活用区域とサブ拠点

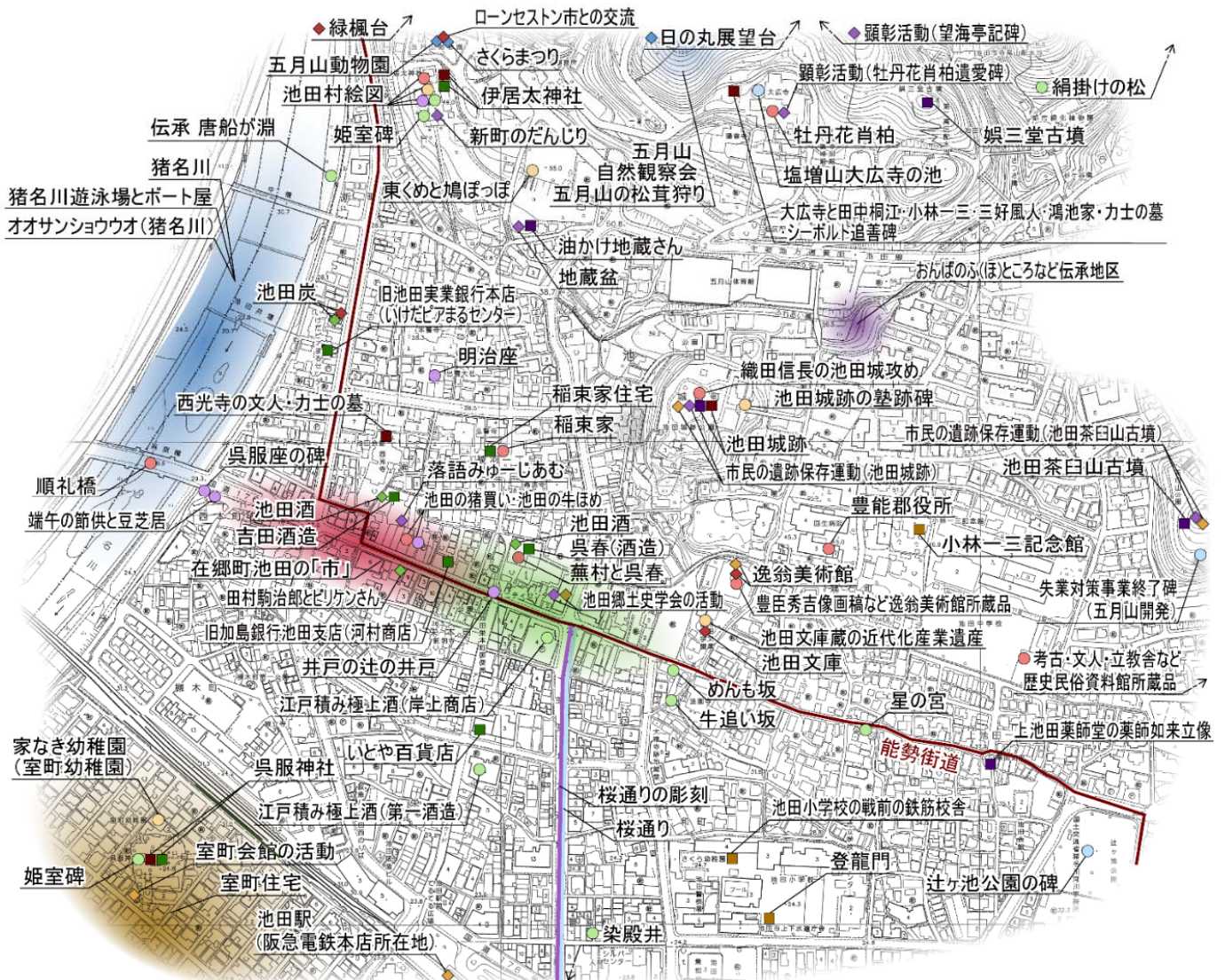


◆池田・在郷町と郊外住宅地が融合する歴史文化保存活用区域

～池田・在郷町と郊外住宅地が融合する歴史文化保存活用区域の特徴～

近世に栄えた在郷町としての佇まいを残しつつ、近代に広がった郊外住宅地が併存・融合した姿を今に伝える区域。

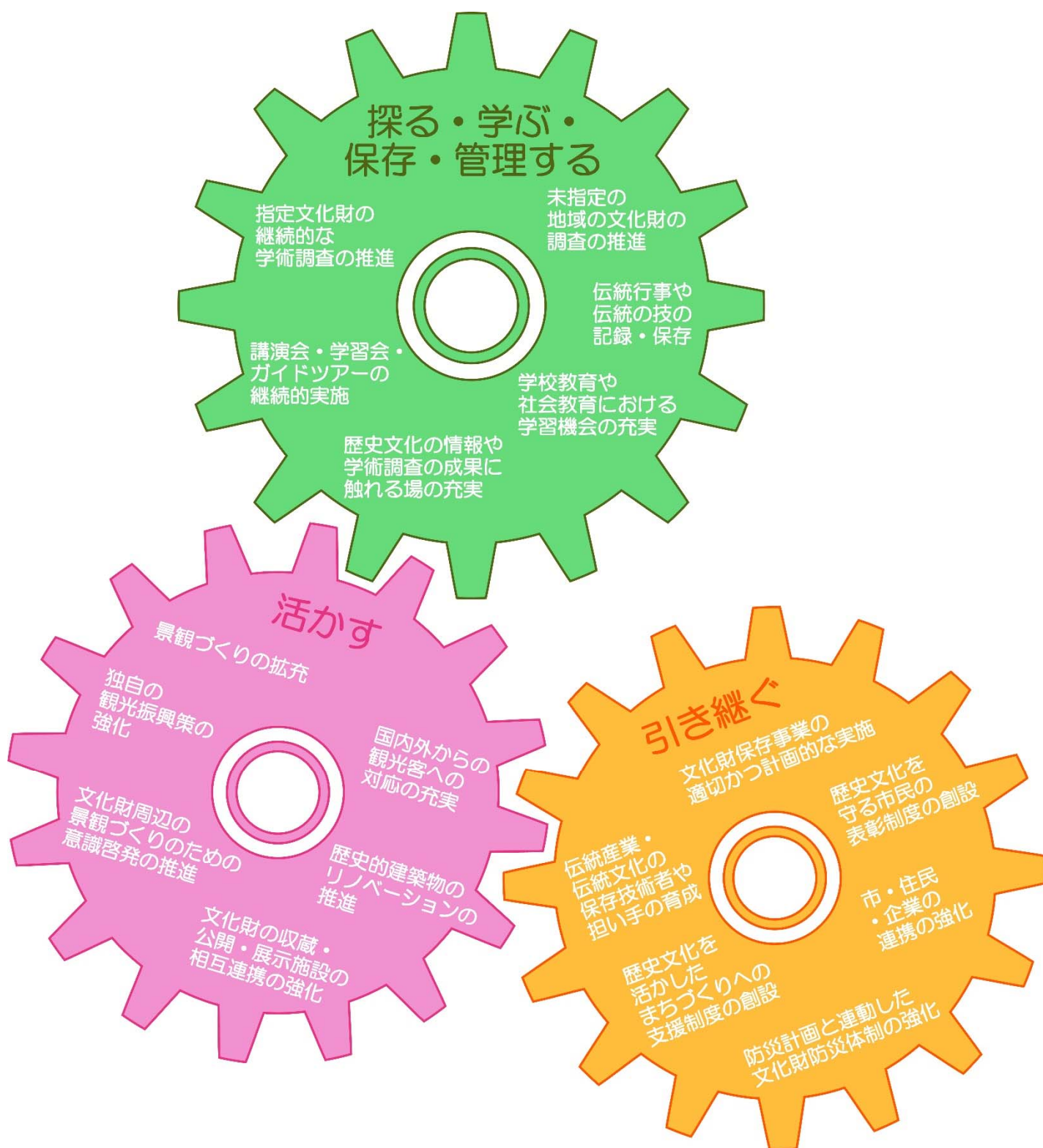
ものづくり・交易・交流に関わる歴史文化遺産が多数存在しており、これらの歴史文化遺産に、池田のまちの豊かな来歴と市民の力が加わり、今日の「事始めのまち」を表現しています。



これからのまちづくりに向けて

歴史文化を活かした魅力あるまちづくり、いきいきとした地域づくりに向けて、本構想をベースにして、これまでの取り組みを拡充し、さらに推進してまいります。

以下は、歴史文化を活かしたまちづくりを進めていくうえでの3つの基本方針です。



池田市歴史文化基本構想（概要版）

平成30年6月

編集・発行 池田市教育委員会